

「シーフードショー」は、日本全国、そして世界の海から魚が集まる国際水産市場です



国内で唯一の水産物展示商談会「シーフードショー」は、“魚”を目的に、日本全国、そして世界各国から水産バイヤー、食品バイヤー等が来場する、まさに“国際水産市場”です。

新商品発表、新規販路開拓、年に一度の挨拶等、様々な目的・用途に応じて、逸品（一品）からでも気軽にご出展いただける機会です。

出展者の皆さまと共に、水産物需要の喚起、需要拡大を目的に開催を進めて参ります。

同時開催コーナー



すしEXPO

世界的な和食ブームの中、和食の代表格である“寿司”は、魚の消費拡大にとっても、重要なパートを占めています。「すしEXPO」では、こだわりの天然・養殖魚や、取扱い容易な寿司ネタ加工品、野菜や肉等の変り種をはじめとする多種多様な寿司ネタから調味料や周辺機器に至るまで、寿司を取り扱うバイヤー／新たに取り扱いたいバイヤーに向けて、幅広く紹介して参ります。



国際水産養殖技術展

第3次養殖ブームの到来と云われる今、日本各地で海面・陸上養殖が活発になっています。「国際水産養殖技術展」では、海面・陸上養殖に於ける生産性の向上、生育環境の改善、付加価値の創出を可能とする様々な設備や技術を、漁業者、養殖業者、研究機関、そして新規参入を目指す皆さまへ紹介し、養殖業界のさらなる発展に寄与します。



フィッシュネクスト技術展

近年、漁場環境の変動、漁業者の高齢化や人手不足により、水産業の省人・省力化等の近代化が進められています。「フィッシュネクスト技術展」では、AI、IoT、ロボット技術等の最新技術、アイデアを、漁業者・養殖業者、水産現場へ紹介することで、水産業の近代化、そして持続的水産業を支援して参ります。



鮮度流通技術展

革新的な鮮度保持技術の向上が、高鮮度な魚介類を日本国内、そして世界への流通を可能にしています。「鮮度流通技術展」では、鮮度保持に係る様々な技術を、生産者、流通業者、水産加工業者へ広く紹介し、水産物の更なる価値創造、および輸出拡大の実現を支援して参ります。



衛生管理推進コーナー

食品衛生管理の国際標準化に向け、食品衛生法の一部を改正する法律が、2018年6月に公布されました。「衛生管理推進コーナー」では、食品衛生にかかる様々な機器・資材・サービス等を、水産・食品従事者の皆さまへ向け、衛生管理に関する情報をひろく発信することで、安心安全な水産物の供給を促進するものです。



アクアポニックスコーナー

養殖業成長産業化への取り組みが進む昨今、水産養殖と水耕栽培が融合したアクアポニックスは、次世代型の一次産業として注目されています。「アクアポニックスコーナー」では、水産養殖と水耕栽培に係る資機材、設備、技術等を漁業者、養殖業者、農業者、研究機関、新規参入を目指す皆さまへ紹介し、産業のさらなる普及を支援して参ります。

☐ () 小間で出展する	☐ 出展を検討する
会 社 名	所 属 / 役 職
氏 名	電 話
メールアドレス	出展予定製品

お申し込み
お問い合わせ
「シーフードショー」事務局／エグジビション テクノロジーズ（株）
〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館8F
TEL. 03-5775-2855 E-mail. sf@exhibitiontech.com

Fax 03-5775-2856



魚・シーフード・水産加工・鮮度保持技術
国際見本市

第22回 ジャパン インターナショナル シーフードショー

THE 22ND JAPAN INTERNATIONAL
SEAFOOD & TECHNOLOGY EXPO

2020年9月30日(水)▶10月2日(金)
Sep 30 [Wed] ▶ Oct 2 [Fri], 2020

東京ビッグサイト
南展示棟
Tokyo Big Sight South Hall

一般社団法人 大日本水産会
Japan Fisheries Association





一般社団法人 大日本水産会
会 長 白 須 敏 朗

日本、そして世界の水産業に関わる皆様に、第22回「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」の開催をご案内申し上げます。

今回で22回目の開催を迎える「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」は、日本及び世界各国の素晴らしい魚や水産関連商材を、国内や海外のバイヤーの皆様へ紹介し、お互いの情報交換と出会いの場を創出する、まさに“3日間の魅力溢れる国際水産「市場」”です。

日本が世界に誇る“和食”を始め、世界各国の食の材料として欠かすことのできない魚介類。特にこれらを様々な形で利用する日本の魚食文化は、健康食としても世界中から大きな関心と呼んでいます。この魅力を、国内、海外の水産・食品バイヤーをはじめとする幅広い関係者にひろく紹介し、需要の裾野を広げることで魚の消費拡大を図り、日本各地の“地域活性化”に繋げていきたいと考えております。また来年は、東日本大震災の発生から10年が経過します。このため本「シーフードショー」に於いても、引き続き東北の水産業を応援し、販路回復に繋がる

機会と捉え、関係者の方々の復興に向けた取り組みを支援して参ります。

また、年々拡大するインバウンド市場に於ける水産物の消費拡大に加え、海外への「シーフードショー」のさらなるPRを図り、海外バイヤーの招致を強化することで、成長戦略の柱として今後期待が高まる“水産物輸出の拡大”により一層努め、水産業の成長産業化、ひいては「水産日本の復活」に努めて参ります。

さらに、新たに「水産エコラベルコーナー」を設け、GSSIから国際標準としての承認を受けた“マリン・エコラベル・ジャパン”認証商品をはじめ、水産エコラベルの普及を推進することで、“持続可能な水産業”の推進にも取り組んで参ります。

水産業界は、魚を獲り、魚を育てる生産者から、加工販売する流通加工業者、さらには関連する産業に至るまで多岐に渡っております。「鮮度流通技術展」、「国際水産養殖技術展」、「フィッシュネクスト技術展」、「すしEXPO」に加え、「衛生管理推進コーナー」も新設し、時代の変化・ニーズに対応するテーマ毎の展示・紹介を行うことで、水産業界全体に寄与する国内最大級の水産国際見本市として、オール水産でこの水産業界を盛り上げて参ります。

北は北海道～南は九州・沖縄まで、そして世界各国の皆様のご参加を心よりお待ちしておりますと共に、素晴らしい「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」の開催となりますよう、心より祈念しております。

 マリン・エコラベル・ジャパンとは

マリン・エコラベル・ジャパン（以下MEL）は、水産資源の持続的な利用と環境や生態系の保全に積極的かつ効果的に取り組んでいる漁業や養殖の生産者、ならびに流通・加工事業者を認証し、認証水産物へロゴマークをつけて流通させるものです。

MEL協議会は、2016年12月に設立され、2019年12月からはGSSIに承認された国際標準スキームとして活動しています。日本の豊かな多様性に恵まれた自然・産業・食文化を反映した「日本発の世界が認める水産エコラベル」として、日本の水産業を輝かせ、社会のお役に立てるMELを目指しています。

大日本水産会は、日本の水産業に携わる皆様が、持続可能な水産業に一層取り組まれ、経営安定に資するようMEL協議会の活動を支援しております。

 HACCPとは

政府の成長戦略の1つである、2030年水産物輸出目標額1兆3,200億円の達成に向け、大日本水産会は、ジェトロ（日本貿易振興機構）との業務協力により海外バイヤーとのマッチング開催、会員への海外商談会への参加促進等の活動を行って参りました。また、2015年2月には水産物・水産加工品輸出拡大協議会を設立し、海外市場の調査、海外商談会・セミナーへの参加、日本産水産物のPR等への支援を通じ、業界を挙げての、より幅広い輸出拡大活動を行っております。

また、改正された食品衛生法が2020年6月に施行され、全ての食品等事業者に、HACCPに沿った衛生管理の実施が求められます。大日本水産会では、国内および対米HACCP認定機関として、これまで約390の施設を認定して参りました（2020年3月現在）が、今後とも業界の対米および対EU・HACCP認定取得促進の一助となれるように努めております。

水産物・水産加工品輸出拡大協議会および水産食品品質高度化協議会他の活動により、引き続き水産物の高度衛生管理と輸出促進の両面に寄与して参ります。

新型コロナウイルス感染症の影響で、売上が減少している水産業界の皆さまへ、商談機会をご提供すべく、今年も引き続き「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」を開催させていただきます。

日本政府、および東京都の指針に従って、万全なる感染症対策を実施し、安心安全な開催に努めて参ります。

※ 感染症対策に関する内容は、公式ホームページをご参照ください。

開催概要

- ・催 事 名 第22回「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」
- ・主 催 一般社団法人 大日本水産会
- ・会 期 2020年9月30日（水）～10月2日（金）
- ・募集締切 2020年8月21日（金）
- ・来場者数 35,000名以上（目標）
- ・入場方法 事前登録制

前回の結果報告

- ・来場者総数（2019年実績）
初 日：2019年8月21日（水）10,664名（前回10,655名）
2日目：2019年8月21日（水）13,504名（前回14,241名）
3日目：2019年8月23日（金）9,404名（前回 9,122名）

登録総来場者数 33,572名（前回34,018名）

※ 本来場者数は、入場時に受付にて登録頂いた方々の数です。
3日間にわたってご来場いただいた方も1名としてカウントされています。

出展料金

「一品（逸品）だけでも参加したい」、「新商品に絞って宣伝したい」等のご要望にお応えし、手軽でリーズナブルな価格設定です。

- ・出展料金
1小間（W2.0m×D2.0m）110,000円（税別）※スペースのみ
- ・公式割引
6小間以上3%、10小間以上 5%、20小間以上10%
- ・装飾プラン
商品をお持ちいただくだけで展示可能な装飾プラン（25,000円～）をご用意しています。詳細はホームページをご覧ください。

- ・出展にかかる費用
（例）出 展 料 金：110,000円
レンタルパッケージ： 25,000円
- 合 計：135,000円（税別）
- ・その他、特別装飾、展示物デザイン制作（パネル他）、資材製作（のぼり、のれん、はっぴ、テーブルクロス）等、オリジナルデザイン制作から事務局が代行して、皆様の出展をサポートします。詳細・見積依頼は、お気軽にご相談ください。

オンライン商談会を開催

来場が叶わない国内外のバイヤーを対象に、オンライン商談会サービスを実施し、出展者とバイヤーとの実質的な商談の場をご提供します。この活動を今後も継続し、将来的には35,000名の来場+10,000名以上のオンライン利用者を獲得することで、世界最大級の来場規模を目指します。

展示会場・アクセス



東京ビッグサイト南展示棟
住所:東京都江東区有明3-11-1

